brother

ユーザーズガイド ネットワーク操作編

FAX-2810N

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ４章「困ったときは（トラブル対処方法）」で調べる

2 サポート　ブラザー　検索 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル オンラインユーザー登録をお勧めします。 https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version 0 JPN

やりたいことがすぐ探せる! やりたいこと目次 5P

目　次

本ガイドの表記

本ガイドでは、OS名称を略記しています。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先、または参照する他の取扱説明書を記載しています。（XXXはページ、参照先） ■冊子（同梱） ・かんたん設置ガイド ・ユーザーズガイド　基本編 ■CD-ROM（同梱） ・ユーザーズガイド パソコン活用編 ・ユーザーズガイド ネットワーク操作編
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。 （XXXは項目名や入力文字）

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本製品のネットワークインターフェイスを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本製品で原稿のファクス受信や印刷ができます。
本ガイドは、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム（OS）	Windows® XP Windows® XP Professional x64 Edition Windows Vista® Windows® 7	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 x64 Edition Windows Server® 2003 R2 Windows Server® 2008 Windows Server® 2008 R2	Mac OS X 10.5.8以降
印刷	○	○	○
PCファクス送信※2	○		○
BRAdmin Light	○	○	○※1
BRAdmin Professional※1	○	○	
ウェブブラウザー	○	○	○
ステータスモニター※2	○		○
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	

※1 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。
※2 詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。

特長と機能

ネットワークプリンター機能

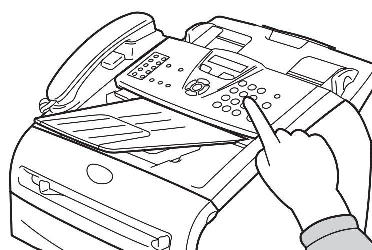
（Windows® XP/Vista/7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.5.8以降）
本製品のネットワークインターフェイスはTCP/IPに対応しています。TCP/IPの印刷プロトコルを使用して、ネットワーク上のコンピューターから直接印刷できます。

やりたいこと目次

ネットワークプリンターとして使いたい。
本製品をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のコンピューターから印刷できます。



操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。
操作パネルのボタンを使用して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。
⇒ 19 ページ「操作パネルについて」

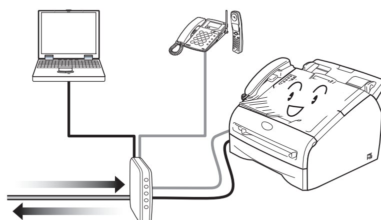


ウェブブラウザーを使って本製品を管理したい。
標準のウェブブラウザーから本製品にHTTPを使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。
⇒ 36 ページ「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」

BRAdmin Light を使って本製品を管理したい。
付属のソフトウェアBRAdmin Lightを使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。
⇒ 14 ページ「BRAdmin Light で設定する」

※Macintoshをご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp/)）よりダウンロードして使用することができます。

次世代ネットワーク（NGN）を使って IP ファクス（T.38 準拠）を送信したい。
IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。
⇒ 38 ページ「ウェブブラウザーを使用して IP ファクスを設定する」



VCCI規格

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

1章

ネットワークで使う前に

ネットワークの基礎

概要

ネットワークに本製品を接続すると、LANで接続されている複数台のコンピューターから印刷することが可能になります。
ネットワークに本製品を接続して使用するには、プロトコルの選定とネットワークの設定、使用する各コンピューターの設定が必要です。

補足

- プロトコルの選定とネットワークの設定
  すでにネットワークに接続されている場合は、使用している印刷用プロトコルを確認してください。なお、この場合は設定を変更せずに本製品を利用することをおすすめします。

プロトコルについて

コンピューター間の通信のルールです。
ネットワークにはさまざまなコンピューターが接続されているため、それらの通信形式が違うとお互いの情報交換ができません。そこで作られたのが通信のプロトコルです。通信の開始から終了までの手順やデータサイズ、送受信方法などが細かく決められています。

● TCP/IP

もっともよく知られているプロトコルで、インターネットの通信で使用されています。
TCP/IPは、ファイルやプリンターの共有も行うことができます。ネットワーク内では、コンピューターなどの機器の特定にIPアドレスが使用されています。

プロトコルの設定に必要な項目

TCP/IP設定

下記の内容は、通常ネットワーク管理者が管理します。

- IPアドレス、サブネットマスク
- ゲートウェイ（ルーターがある場合）

● IP アドレス

0～255の数字を組み合わせた4つのブロックで構成されています。各コンピューターに重複しないIPアドレスを個別に割り当てます。

例）192.168.1.1

小規模なネットワークでは、例えば192.168.1.1、192.168.1.2、192.168.1.3･･･と、末尾の番号を変えて設定します。

● サブネットマスク

TCP/IPのネットワーク接続で大規模なネットワークの場合、通常ルーターを経由していくつかの小規模なネットワーク（サブネット）に区切られます。IPアドレスはネットワーク部とホスト部から構成され、その切れ目はサブネットマスクによって決定されます。ホスト部のビットが全て0のアドレスをネットワークアドレス、全て1のアドレスをブロードキャストアドレスと呼びます。

このアドレスの範囲内が、そのネットワークでコンピューターを識別できるIPアドレスとなります。

例）ネットワーク1、2という2つの異なるネットワーク上にあるそれぞれのプリンターから印刷する場合、

- ネットワーク1上のネットワークボードのIPアドレスが「192.168.1.1」
- ネットワーク2上のネットワークボードのIPアドレスが「192.168.2.1」

とします。サブネットマスクを「255.255.255.0」と設定すると、それぞれのネットワークアドレスは「192.168.1.0」「192.168.2.0」となり、異なるネットワークだと判断されます。このような場合はルーターを経由してアドレス変換を行う必要があります。

次に、サブネットマスクを「255.255.0.0」と設定すると、ネットワークアドレスが両方とも「192.168.0.0」となり、同一のネットワーク内の通信と判断されますので、この場合はルーターを使用する必要はありません。

● ゲートウェイ（ルーター）

ネットワークとネットワークとを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを経由して送信されるデータを正確に目的の場所に届ける役目を持っています。ネットワーク内のデータの送り先が外部のネットワーク宛であれば、ルーターはそのデータを外部に送り出します。

● ノード名（NetBIOS 名）

従来の BRAdmin Professional やネットワーク設定ページなどで表示される本製品の名称です。お買い上げ時のノード名は、“BRNXXXXXXXXXXXX”です。（「XXXXXXXXXXXX」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

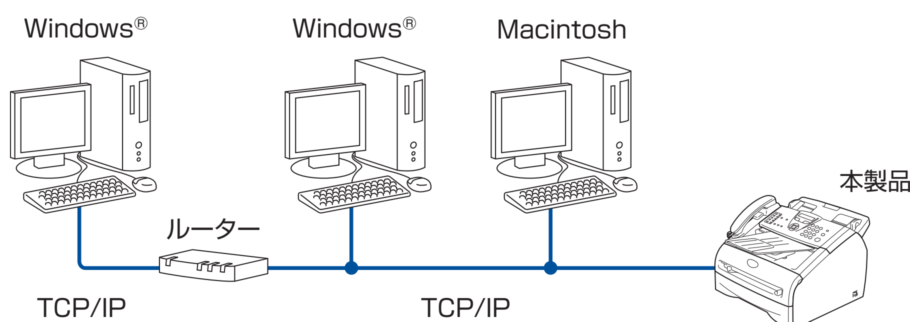
ネットワークの接続

接続方法

接続方法は、各コンピューターから直接本製品と通信して印刷する方法（ピアツーピア）と、本製品に接続されているコンピューターを経由して印刷する方法（ネットワーク共有）があります。

ピアツーピア接続

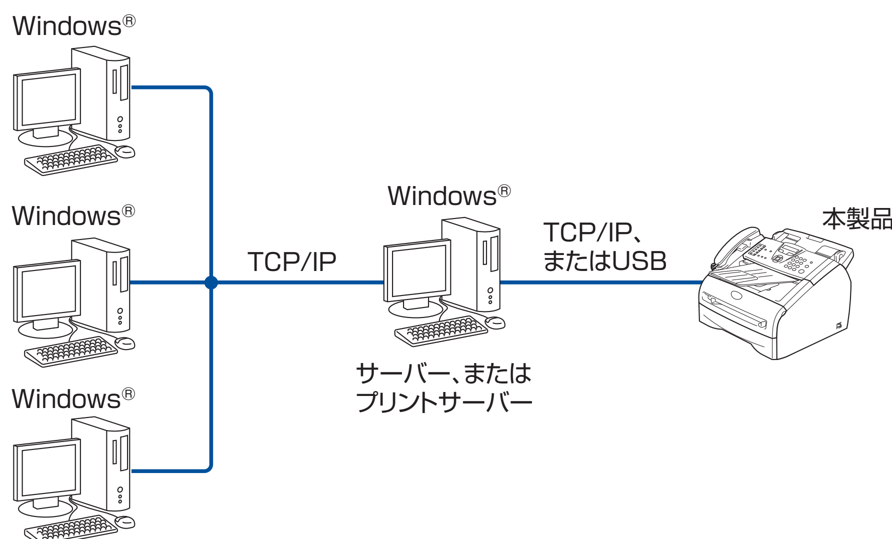
ピアツーピア接続では、各コンピューターが本製品と直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。
各コンピューターにプリンターポートの設定をします。



- コンピューター 2、３台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をおすすめします。ネットワーク共有印刷については、⇒10ページ「ネットワーク共有」を参照してください。
- 各コンピューターにTCP/IPプロトコルの設定を行います。
- 本製品にもIPアドレスを設定する必要があります。
- ルーターがある場合、ルーターの先からも利用可能です。（ゲートウェイの設定が必要）

ネットワーク共有

ネットワーク共有では、各コンピューターが本製品とデータを送受信するには、サーバーまたはプリントサーバーを経由する必要があります。このサーバーまたはプリントサーバーで、すべての印刷作業を制御します。
本製品に直接接続されているコンピューターにのみプリンターポートを設定し、そのコンピューターを経由して他のコンピューターも本製品を共有できます。ただし、本製品に接続されているコンピューターの電源が入っていないと、他のコンピューターは本製品を使用できません。



- 大規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷環境をおすすめします。
- サーバーまたはプリントサーバーは、TCP/IP印刷プロトコルを使用してください。
- サーバーまたはプリントサーバーには、本製品に適したIPアドレスを設定する必要があります。
- サーバーまたはプリントサーバーをUSBを経由して接続することもできます。
- サーバーまたはプリントサーバーは、プリンタードライバーがインストール済みであることが必要です。
- Windows®のみ設定可能です。

補足

ネットワーク共有の設定方法については、Windows®オペレーティングシステムの共有プリンターに関する説明やヘルプを参照してください。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
ウェブブラウザーで管理する
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

ネットワークの接続に必要な環境を整える

本製品をネットワーク上で使用するために、あらかじめ準備したり調べておくものについて説明します。

準備するもの

● ネットワークケーブル（LAN ケーブル）

本製品とコンピューター、またはハブなどの機器同士をつなぐケーブルです。ネットワークケーブル（LANケーブル）にはいろいろな規格がありますが、現在一般的なのはカテゴリ5Eという規格のケーブルです。5EのEは「Enhanced」の略で、「強化された」という意味を持っています。カテゴリ5Eのケーブルはカテゴリ5のケーブルよりもノイズに強い作りになっています。

また、同じカテゴリのケーブルにも「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2種類があります。ストレートケーブルはADSLモデムとコンピューターの接続、コンピューターとハブの接続に使用されるケーブルで、ほとんどの場合はストレートケーブルで接続が可能です。クロスケーブルは2台のコンピューター同士を直接接続するときなどに使用されます。

ケーブルの長さは、機器間の距離に多少の余裕を持って購入してください。ただし、最大ケーブル長は10BASE-T/100BASE-TXとも100mとなっているため、それ以下になるようにしてください。

● ハブ

複数台のコンピューターなどをネットワーク接続するときに必要な集線装置です。ハブには、大きく分けて「リピータハブ」と「スイッチングハブ」があります。リピータハブは主に10BASE-Tで使用される集線装置です。スイッチングハブは主に、100BASE-TXや1000BASE-Tに使用される集線装置で、信号の流れを制御してコリジョンという信号の衝突が起きないようにする機能を持っています。

ハブに接続できる機器の数はハブのポート数によって決まります。お使いの環境から、何台の機器を接続するかを検討して購入してください。

● ブロードバンドルーター

ADSLやCATV、光ファイバー（FTTH）などのインターネット網と、家庭・オフィスのLAN（内部ネットワーク）を中継する機器です。複数台のコンピューターから同時にインターネットに接続することができるようになります。ブロードバンドルーターを使用すると、接続した各機器に自動でIPアドレスを割り当てるDHCP機能や、LAN内の独自のIPアドレス（プライベートIPアドレス）を持つ機器に、必要に応じてインターネット用のIPアドレス（グローバルIPアドレス）を割り当てるNAT機能があります。

さらにインターネット接続に必要なプロトコルに対応していたり、インターネットからの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能なども持っています。

IPアドレスを決める

● IP アドレスとは

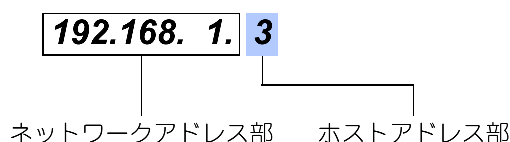
IPアドレスは、接続しているコンピューターの住所にあたるものです。TCP/IPネットワークに接続するコンピューターなどの機器（ノード）には、必ずIPアドレスを割り当てる必要があります。

IPアドレスは、0～255までの数字を「.（ピリオド)」で区切って「192.168.1.3」のように表現します。

ローカルネットワークでは、IP アドレスはサブネットマスクによって「ネットワークアドレス部」と「ホストアドレス部」に分割されています。サブネットマスクを設定することにより、ホストアドレス部だけでそのネットワーク全体を管理できます。IPアドレスとサブネットマスクは常にセットで管理してください。

192.168.　1.3	**IP アドレス**
255.255.255.0	**サブネットマスク**

と設定されている場合、



という意味を持っています。このうち利用可能なホストアドレス部の値は、予約された"0"と"255"を除いた1 ～254の範囲で、「192.168.1.3」は、

192.168.1.1~254

の中のひとつのアドレスであることがわかります。このネットワークに本製品を追加する場合は、ホストアドレス部に重複しないよう変更した値を割り当ててください。

補足

●予約されているアドレス

上記の例では、192.168.1.0 がネットワークアドレス、192.168.1.255 がブロードキャストアドレスとなり、本製品に割り当てることはできません。

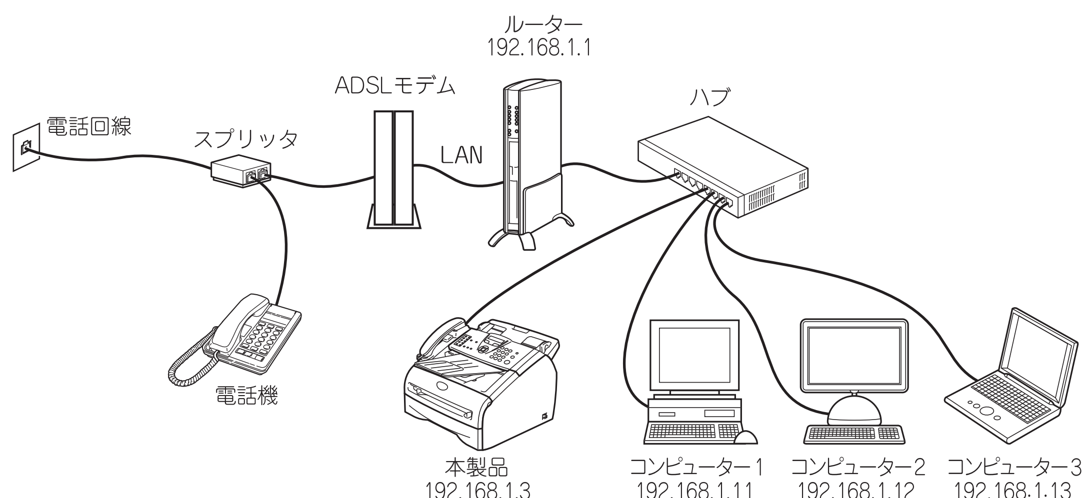
● IP アドレスの決め方

本製品を同じネットワーク上に接続するためには、現在使用しているルーターなどの初期値に合わせると簡単に設定、管理することができます。IPアドレスを手動で設定する場合は以下のように設定します。

ルーターのLAN側IPアドレスが「192.168.1.1」、サブネットマスクが「255.255.255.0」である場合、接続する本製品やコンピューターにネットワークアドレス部は同じ値を設定し、ホストアドレス部にはそれぞれ異なる値を割り当てます。ここでは「2 ～254」の範囲で設定します。以下の例を参考に、接続する機器のIPアドレスを設定してください。

例）

機器名（ノード）	IP アドレス	サブネットマスク
ルーター	192.168.1.　1	255.255.255.0
本製品	192.168.1.　3	255.255.255.0
コンピューター 1	192.168.1.11	255.255.255.0
コンピューター 2	192.168.1.12	255.255.255.0
コンピューター 3	192.168.1.13	255.255.255.0



補足

●ネットワーク管理者がいるときは
事務所などで多くの機器をネットワーク接続している場合は、ネットワークを管理している担当者に使用できるIPアドレスなどを問い合わせてください。数値を適当に設定すると、ネットワーク接続できないなどトラブルの原因になります。

●ネットワーク内にルーターがあるときは
ルーターにもIPアドレスが割り当てられています。そのIPアドレスを本製品またはコンピューターに設定しないでください。ルーターのIPアドレスはルーターの取扱説明書を確認するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

●DHCP環境でお使いの場合
ルーター以外にDHCPサーバーが設置されているときは、ルーターのDHCPサーバー機能を無効にするか、本製品のIPアドレス取得方法を「Static」にしてください。ただし、本製品のIPアドレス取得方法を「Static」にすると、次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用できなくなります。IPアドレスの取得方法については、⇒21ページ「IP取得方法」を参照してください。ルーターについては、⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。

ネットワークの設定について

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

本製品をネットワークに接続するには、付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用することをおすすめします。「かんたん設置ガイド」の手順に従ってプリンタードライバー、ソフトウェアのインストールを進めると、簡単に本製品をネットワークに接続することができます。

補足

付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用したくない場合、または付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーやブラザーソフトウェアを使用できない場合は、本製品の操作パネルを使用してネットワークの設定を変更することができます。詳しくは、⇒18ページ「操作パネルでネットワークの設定をする」を参照してください。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

操作パネルを使用する

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定のリセット、LAN設定内容リストの印刷、TCP/IPの設定ができます。詳しくは、⇒18ページ「操作パネルでネットワークの設定をする」を参照してください。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.5.8以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、⇒15ページ「BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする」を参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。

補足

- TCP/IPネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IPアドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする

1 付属のドライバー& ソフトウェア CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

2 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする



3 ［BRAdmin Light］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする



BRAdmin Lightでの設定方法

注意

■BRAdmin Lightは付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。

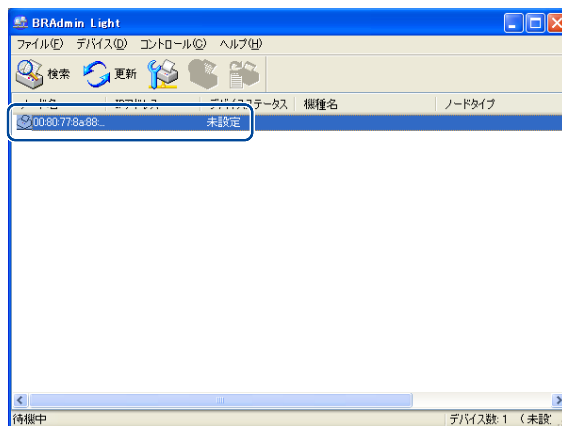
■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。

■BRAdmin Light を操作するコンピューターで、「ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。

1 **［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する**

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

2 **［デバイスステータス］が「未設定」となっている本製品をダブルクリックする**



注意

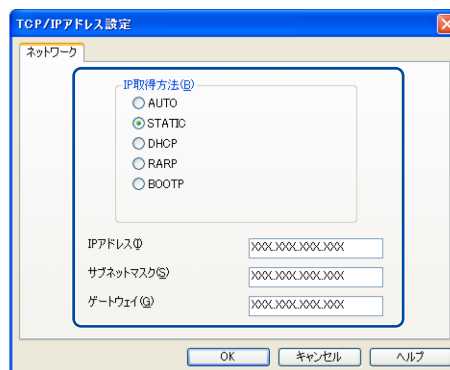
ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、デバイスステータスに「未設定」とは表示されません。
その場合は、設定を変更せずに本製品を利用することをおすすめします。

補足

●現在設定されているノード名や MAC アドレス（イーサネットアドレス）を調べるときは、「LAN 設定内容リスト」を印刷します。詳しくは、⇒32ページ「LAN設定内容リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のノード名は、“BRNXXXXXXXXXXXX”です。（「XXXXXXXXXXXX」はMACアドレスの12桁です。）
「未設定」と表示されていないデバイスに設定するときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。（本製品のお買い上げ時のパスワードは“access”です。）

●ノード名とMACアドレスは操作パネルからでも調べることができます。詳しくは、⇒25ページ「ノード名（NetBIOS名）」を参照してください。

3 ［IP 取得方法］から「STATIC」を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する



補足

- ●IPファクスを使用する場合、「AUTO」または「DHCP」に設定してください。
  ただし、IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ 光ネクストに契約する必要があります。
- ●フレッツ 光ネクストについてのご質問は、NTTにお問い合わせください。

4 ［OK］をクリックする

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、BRAdmin Light のリスト画面上にノード名およびプリンター名が表示されます。

補足

BRAdmin Lightを使用せずにIPアドレスを設定するときは以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。

- 操作パネルで設定する場合は、⇒22ページ「IPアドレス」を参照してください。
- DHCP、RARP、BOOTPを使用する場合は、⇒21ページ「IP取得方法」、または、⇒53ページ「IPアドレスの設定方法（上級者ユーザー、ネットワーク管理者向け）」を参照してください。

その他の管理ユーティリティ

ウェブブラウザーを使用する

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されている本製品の管理ができます。コンピューターにインストールされている標準ウェブブラウザーを使用して、ネットワーク上の本製品のステータス情報を取得し、本製品およびネットワーク設定を変更することができます。
⇒36ページ「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」を参照してください。

BRAdmin Professionalを使用する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalは、ネットワークに接続されている本製品の管理をするためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品を検索し、BRAdmin Professionalの画面上でデバイスの状態を閲覧できます。各デバイスは、状態によって色分けされます。ネットワーク上のWindows®システムが稼動するコンピューターから本製品のネットワークファームウェアをアップデートしたり、ネットワーク設定を変更したりすることができます。また、ネットワーク上の本製品の使用状況を記録し、HTML、CSV、TXT、SQL形式でログデータをエクスポートすることができます。

2章

操作パネルでネットワークの設定をする

操作パネルについて

この章では、操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。

操作ボタン

本製品の操作パネルのボタンを利用することで、コンピューターから操作しなくてもネットワークの各設定項目を修正できます。

操作パネル

操作パネルは、各設定項目を表示したり、ダイヤルボタンやワンタッチダイヤルなどで入力した文字を表示します。

操作パネルを使用すれば、「LAN」設定メニューを通じてネットワーク設定をすることができます。
Menu Set を押し、4 GHI または ▲▼ でLANを選択してください。

4.LAN

このようにLANのメインメニューへ入ることができます。

補足
一度ネットワーク上で有効なIPアドレスを本製品に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザーからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM 内に収録されている BRAdmin Lightをご使用いただくことで同様に設定が可能です。

TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、本製品の「ゲートウェイ」の項目にルーターのアドレスを設定します。

補足

ネットワークボードの工場出荷時のデフォルトは、次の通りです。
- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）
- パスワード：access

注意

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように、IPの設定方法を手動（「Static」（固定））に設定してください。ただし、「Static」に設定すると、次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用できなくなります。IPアドレスの取得方法については、⇒21ページ「IP取得方法」を参照してください。

このメニューは9つの項目で構成されています。
- IP取得方法
- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイ
- ノード名
- WINS設定
- WINSサーバー
- DNSサーバー
- APIPA

補足

TCP/IPを設定する他の方法
- ウェブブラウザーを使用する場合は、⇒36ページ「ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する」を参照してください。
- その他TCP/IPを設定する方法は、⇒53ページ「IPアドレスの設定方法（上級者ユーザー、ネットワーク管理者向け）」を参照してください。

IP取得方法

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI を押す

4.LAN

▲▼でも選択可能です。

3 1、1 の順に押す

1.IP ｼｭﾄｸ ﾎｳﾎｳ

4 ▲▼を押して「Auto」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」または「DHCP」のいずれかを選択する

IPｼｭﾄｸ:Auto

お買い上げ時は「Auto」に設定されています。

5 Menu Set を押す

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

IP アドレス取得方法が確立されます。

6 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

補足

- IPファクスを使用する場合、「Auto」または「DHCP」に設定してください。
  ただし、IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ 光ネクストに契約する必要があります。
- フレッツ 光ネクストについてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- IP 取得方法を「Auto」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内の IP アドレス配布サーバーを探して、IP アドレスを取得します。これらのサーバーが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IP アドレスが自動的に割り当てられます。
- IP取得方法は、BRAdmin Light、またはウェブブラウザーを使用しても変更することができます。

IPアドレス

本製品の現在のIPアドレスが表示されます。お買い上げ時はAPIPAにより自動的に割り当てられます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法を「Static」（手動）に指定してください。
「Static」以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI を押す

でも選択可能です。

`4.LAN`

3 1 、2 ABC の順に押す

`2.IP ｱﾄﾞﾚｽ`

4 1 を押す

2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

`ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ`

5 IP アドレスを入力する

右記は例です。

`192.168.001.003`

6 Menu Set を押す

IP アドレスが登録されます。

`ｳｹﾂｹﾏｼﾀ`

7 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
ウェブブラウザーで管理する
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1  **を押す**

選択メニューが表示されます。

2  **を押す**　　`4.LAN`

でも選択可能です。

3  、3 **の順に押す**　　`3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ`

4  **を押す**　　`ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ`

2 を押すと、設定画面へ戻ります。

5 **サブネットマスクを入力する**　　`255.255.255.000`

6  **を押す**　　`ｳｹﾂｹﾏｼﾀ`

サブネットマスクが登録されます。

7  **を押す**

設定メニューを終了します。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCPやBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルーターを使用しない場合は初期値(000.000.000.000)にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

1 **Menu Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 GHI を押す**

4.LAN

▲▼でも選択可能です。

3 **1、4 GHI の順に押す**

4.ゲ゛ートウェイ

設定済みの場合は、「ヘンコウ　1.スル　2.シナイ」と表示されます。そのときは1を押します。2 ABCを押すと、設定画面へ戻ります。

4 **ゲートウェイアドレスを入力する**

192.168.001.001

右記は例です。

5 **Menu Set を押す**

ウケツケマシタ

ゲートウェイアドレスが登録されます。

6 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

ノード名（NetBIOS名）

ノード名をネットワークに登録するために使用します（WINSサーバーに登録されるNetBIOS名になります）。
お買い上げ時のノード名は、“BRNXXXXXXXXXXXX”です。（「XXXXXXXXXXXX」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI を押す　　4.LAN

上下キーでも選択可能です。

3 1、5 JKL の順に押す　　5.ﾉｰﾄﾞ ﾒｲ

4 1 を押す　　ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

5 ノード名を入力する　　ﾅﾏｴ:BRNXXXXXXXXXX

6 Menu/Set を押す　　ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

ノード名が登録されます。

7 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

WINS設定

この項目で本製品がWINSをどのように解決するかを設定します。

● Auto

DHCPサーバーから自動的にプライマリ、セカンダリのWINSサーバーアドレスを取得します。Boot MethodがAUTOに設定されている必要があります。

● Static

手動でWINSサーバーアドレスを設定します。



Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。



4 を押す

でも選択可能です。

4.LAN



1、6 の順に押す

6.WINS ｾｯﾃｲ



を押して「Auto」または「Static」を選択する

お買い上げ時は「Auto」に設定されています。

WINS ｾｯﾃｲ:Auto



Menu/Set を押す

WINS 設定が登録されます。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ



停止/終了

を押す

設定メニューを終了します。

WINSサーバー

WINSサーバーの設定をします。

● プライマリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でプライマリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーのIPアドレスを登録します。

● セカンダリ WINS サーバー IP アドレス

この項目でセカンダリWINS（Windows® Internet Naming Service）サーバーのIPアドレスを登録します。セカンダリWINSサーバーはプライマリWINSサーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからないときに機能します。ネットワーク内にセカンダリのWINSサーバーが存在しない場合は入力しなくても構いません。

1 **Menu Set を押す**

選択メニューが表示されます。

2 **4 を押す**

4.LAN

▲▼でも選択可能です。

3 **1、7 の順に押す**

7.WINS ｻｰﾊﾞ

4 **▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の WINS サーバーを選択する**

ﾌﾟﾗｲﾏﾘ

5 **Menu Set で決定する**

ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

設定済みの場合は、「ﾍﾝｺｳ　1. ｽﾙ　2. ｼﾅｲ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 を押すと、設定画面へ戻ります。

6 **WINS サーバーのアドレスを入力する**

000.000.000.000

7 **Menu Set を押す**

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

WINS サーバーのアドレスが登録されます。

8 **停止/終了 を押す**

設定メニューを終了します。

DNSサーバー

DNS（ドメインネームシステム）サーバーの設定をします。

● プライマリ DNS サーバー IP アドレス

この項目でプライマリDNS（Domain Name System）サーバーのアドレスを指定します。

● セカンダリ DNS サーバー IP アドレス

この項目でセカンダリDNSサーバーのアドレスを指定します。セカンダリDNSサーバーはプライマリDNSサーバーの機能の一部を補完し、プライマリサーバーが見つからない場合に機能します。
ネットワークのトラフィックが大きい環境で使用する場合に設定してください。

1	**Menu Set を押す** 選択メニューが表示されます。	
2	**4 GHI を押す** ▲▼でも選択可能です。	4.LAN
3	**1 、8 TUV の順に押す**	8.DNS ｻｰﾊﾞ
4	**▲▼を押して「プライマリ」または「セカンダリ」の DNS サーバーを選択する**	ﾌﾟﾗｲﾏﾘ
5	**Menu Set で決定する** 設定済みの場合は、「ﾍﾝｺｳ　1.ｽﾙ　2.ｼﾅｲ」と表示されます。そのときは 1 を押します。2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。	ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
6	**DNS サーバーのアドレスを入力する**	000.000.000.000
7	**Menu Set を押す** DNS サーバーのアドレスが登録されます。	ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
8	**停止/終了 を押す** 設定メニューを終了します。	

APIPA

接続したネットワークの環境に合わせたTCP/IP設定を自動的に行います。

1 Menu/Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 を押す

でも選択可能です。

4.LAN

3 1、9 の順に押す

9.APIPA

4 を押して「On」または「Off」を選択する

お買い上げ時は「On」に設定されています。

APIPA:On

5 Menu/Set を押す

APIPA の設定が登録されます。

ウケツケマシタ

6 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

その他の設定

イーサネット

この設定の変更を有効にするためには、本製品を再起動する必要があります。

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI タ、2 ABC カ の順に押す

2. イーサネット

でも選択可能です。

3 を押してリンクモードを選ぶ

Auto

選べるモードは以下のとおりです。
（お買い上げ時は「Auto」に設定されています。）
- Auto
- 100B-FD
- 100B-HD
- 10B-FD
- 10B-HD

4 Menu Set を押す

ウケツケマシタ

イーサネットの設定が登録されます。

5 停止/終了 を押す

設定メニューを終了します。

● Ethernet リンクモードについて

Auto:

100BaseTX（全二重/半二重）、10BaseT（全二重/半二重）モードを自動的に選びます。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD:

それぞれのリンクモードに固定されます。
- 100B-FD　：100BaseTX Full Duplex
- 100B-HD　：100BaseTX Half Duplex
- 10B-FD　：10BaseT Full Duplex
- 10B-HD　：10BaseT Half Duplex

LAN設定の初期化

現在のLAN設定を全て初期化できます。初期化すると本製品は自動的に再起動します。

1 Menu Set を押す

選択メニューが表示されます。

2 4 GHI を押す

でも選択可能です。

4.LAN

3 0 を押す

0.LANｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ

4 1 を押す

2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

1.ﾘｾｯﾄ 2.ｷｬﾝｾﾙ

5 1 を押す

「ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ」と表示され、数秒後に本製品が再起動します。

2 ABC を押すと、設定画面へ戻ります。

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

LAN設定内容リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

1 レポート を押す

2 ▲▼を押して「7. LAN セッテイナイヨウリスト」を選択する

7. LANセッテイナイヨウリスト

3 Menu Set を押す

LAN 設定内容リストが出力されます。

お買い上げ時のLAN設定

お買い上げ時の設定は、下線で示しています。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	
4. LAN	1. TCP/IP セッテイ	1. IP シュトク ホウホウ	Auto Static RARP BOOTP DHCP	
		2. IP アドレス	[000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (169. 254. 000. 000)	
		3. サブネット マスク	[000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	
		4. ゲートウェイ	[000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	
		5. ノード メイ	BRNXXXXXXXXXXXX（15文字以内）	
		6. WINS セッテイ	Auto Static	
		7. WINS サーバ	プライマリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	
		8. DNS サーバ	プライマリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	
		9. APIPA	On Off	
	2. イーサネット	Auto 100B−FD 100B−HD 10B−FD 10B−HD	−	
	0. LANセッテイ リセット	1. リセット	−	1. スル 2. シナイ
		2. キャンセル	−	−

3章

ウェブブラウザーで管理する

概要

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本製品を管理することができます。
Windows®の場合はMicrosoft® Internet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降を推奨します。

補足

- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 他のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP 1.0およびHTTP 1.1と互換性があることを確認してください。

ウェブブラウザーを使用して、本製品から次の情報を取得したり、設定したりすることができます。

- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細情報の取得
- ファクスの基本設定や電話帳、リモートFAX設定の変更
- IPファクスの設定変更　⇒38ページ「ウェブブラウザーを使用してIPファクスを設定する」を参照してください。
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- LAN設定内容リストの印刷
- ネットワーク設定リセット

● 条件

本製品とコンピューターのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピューターがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザーを起動し、本製品のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。

ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用し、プリントサーバーなどの設定を変更することができます。

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する**

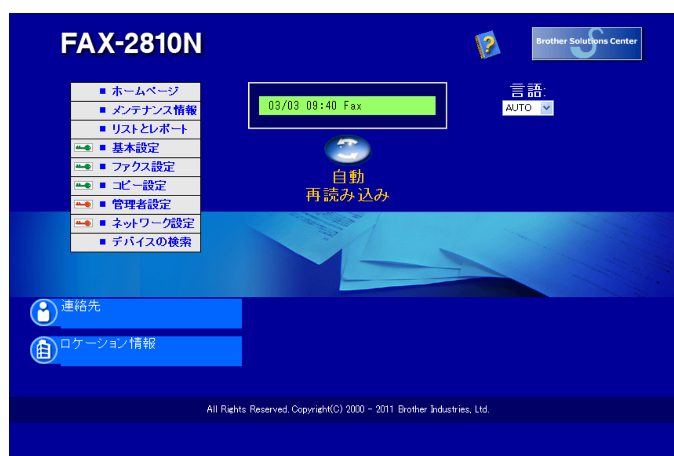


- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

  例）本製品のIPアドレスが192.168.1.3の場合
  　　ウェブブラウザーにhttp://192.168.1.3/と入力します。
- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒49ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」を参照してください。
- Windows®のドメイン／ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

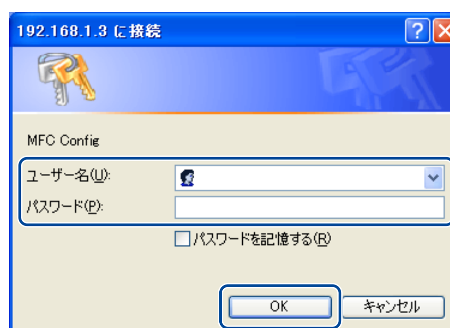
3 **目的の管理機能へのリンクをクリックする**

ネットワークの設定を表示または変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



4 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする**

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。



5 **必要に応じて設定を変更する**

本ガイドの使い方・目次
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
ウェブブラウザーで管理する
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

補足

- ●プロトコル設定を変更した場合は、変更内容を有効にするため［OK］をクリックして、画面の指示に従って本製品を再起動してください。
- ●hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前（例：Shared_Printer）を入力します。また、本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているためIPアドレスではなく、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、LAN設定内容リストで確認できます。LAN設定内容リストを印刷するには、⇒32ページ「LAN設定内容リストの出力」を参照してください。NetBIOS名は、ノード名の最初の15文字が割り当てられます。お買い上げ時のNetBIOS名は、“BRNXXXXXXXXXXXX”です。（「XXXXXXXXXXXX」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）
- ●Mac OS X ユーザーの方は、ステータスモニターの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザーを起動することで、本製品にアクセスすることができます。詳しくは、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。

パスワードについて

ウェブブラウザーでは、2 段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」、「ファクス設定」、「コピー設定」です。

● 一般ユーザー

ユーザー名：user
パスワード：access

管理者用のパスワード管理では、すべての機能を管理できます。

● 管理者

ユーザー名：admin
パスワード：access

補足

お買い上げ時のパスワード“access”は、ウェブブラウザーの［ネットワーク設定］－［パスワード&連絡先］から変更が可能です。

ウェブブラウザーを使用してIPファクスを設定する

次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用する場合、データコネクトの設定を変更する必要があります。標準のウェブブラウザーでHTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してデータコネクトの設定を変更することができます。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

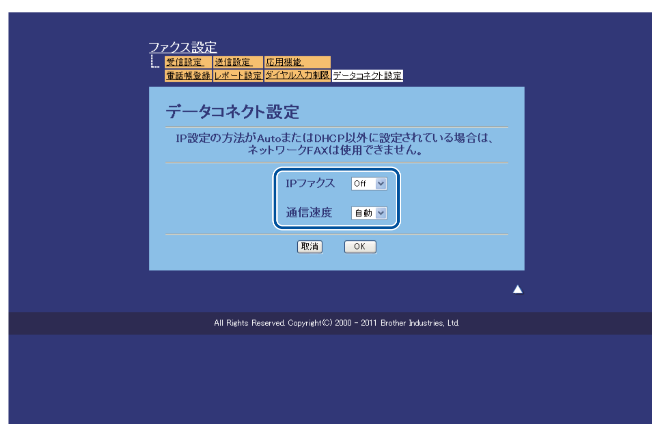


例）本製品のIPアドレスが192.168.1.3の場合
　　ウェブブラウザーにhttp://192.168.1.3/と入力します。

- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒49ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」を参照してください。
- Windows®のドメイン／ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

3 本製品のウェブページから［ファクス設定］－［データコネクト設定］をクリックする

4 ［IP ファクス］と［通信速度］を設定する



5 必要に応じて設定を変更する

補足

- ［IP ファクス］を「優先」に設定すると、相手先が IP ファクスに対応しているかを自動的に確認し、対応していない場合には通常のファクス送信を行います。
- ［IP ファクス］を「専用」に設定すると、ファクス送信が IP ファクスのみとなります。ただし、手動送信およびポーリング送信の場合は、通常のファクス送信になります。
- 本製品の通信速度は標準：64kbps、高速：512kbpsに対応しています。各利用料金については、NTTのホームページでご確認ください。
- TCP/IP設定のIP取得方法を「Auto」または「DHCP」に設定してください。⇒21ページ「IP取得方法」を参照してください。
- データコネクト設定は、操作パネルを使用しても変更することができます。
- IPファクスは、NTTのフレッツ 光ネクストに契約している場合のみ利用できます。
- 「データコネクト」「フレッツ 光ネクスト」は、NTT東日本／NTT西日本のサービスです。

4章

困ったときは（トラブル対処方法）

概要

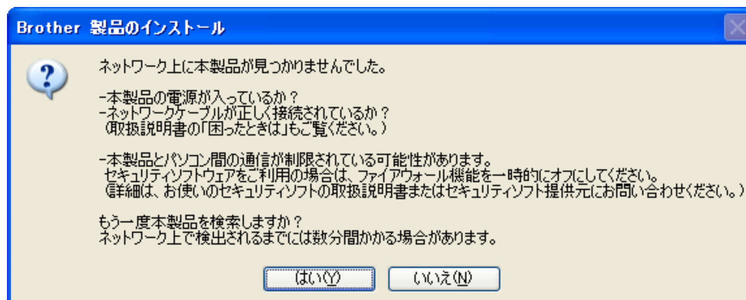
この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。
問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

- インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない　⇒42ページ
- 印刷できない　⇒43ページ
- ネットワーク機器に問題ないか調べるには　⇒44ページ
- ネットワークの設定がうまくいかないときは　⇒46ページ

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、［はい］をクリックして再度検索を行います。



■それでも検索されない場合、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示に従って、IPアドレスなどを設定してください。

以下の項目を確認してください。

1 **お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**

⇒ 44 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

⇒ 45 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**

⇒ 46 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

印刷できない

以下の項目を確認してください。

1 お使いのコンピューターから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認する

⇒ 44 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する

⇒ 45 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する

⇒ 46 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

4 ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスを繰り返し変更した直後には、IP アドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルーターやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンターフォルダーの表示方法

- Windows Vista®の場合
  － ［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® 7の場合
  － ［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
- Windows® XPの場合
  ［スタート］－［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。

補足

- 問題が解決できなかった場合は、一度ドライバーとソフトウェアをアンインストールして、「かんたん設置ガイド」に従って、再度インストールしなおすことをおすすめします。
- アンインストールの方法（Windows®の場合）
  ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX-2810N］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールをしてください。

ネットワーク機器に問題ないか調べるには

お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下の項目を確認してください。

本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、⇒「ユーザーズガイド」の「困ったときには」を参照してエラーを解除してください。

接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯 / 点滅していますか？



ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにコンピューターと本製品が正しく接続されているか確認する

- 接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
- ストレートケーブル以外は使用しないでください。
- 他のケーブルで接続しなおしてください。



ルーター / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認する

一般的に、ルーター / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。

点灯 / 点滅していない場合には

- 他のLANポートに接続しなおす
- 他のLANケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。

それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。



セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバーのインストールをやり直してください。

印刷機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷やその他の機能をご利用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。
拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

本製品のネットワーク機能をご利用になるとき

BRAdmin Lightをご利用いただく場合は、セキュリティソフトのファイアウォールにアウトバウンド通信（コンピューターの内部から外部への通信）の設定を行う必要があります。それぞれのセキュリティソフトの設定で、下記のポート番号を追加してください。
ポート番号の追加方法は、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

機能	名称※1	ポート番号	プロトコル(TCP/UDP)
BRAdmin Light	例）Brother BRAdmin Light	161	UDP

※1：名称は任意です。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IPアドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのコンピューターと本製品のIPアドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。
Windows®の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。はじめに、このツールを使って自動で修復できるかどうかお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのコンピューターと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを確認し、手動で再設定を行ってください。再設定については、⇒53ページ「IPアドレスの設定方法（上級者ユーザー、ネットワーク管理者向け）」をご覧ください。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows®のみ）

「ネットワークプリンター診断修復ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

補足

- Windows® XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7を使用している場合は、ネットワーク管理者権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、コンピューターとネットワーク接続した状態で、以下の手順を実行してください。

1 **Windows® XP/Windows Server® 2003/2008 は、**
［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］をクリックし、［マイコンピュータ］をクリックする
Windows Vista® は、
メニューから［コンピュータ］をクリックする
Windows® 7 は、
メニューから［コンピューター］をクリックする

2 **［ローカルディスク（C:）］－［Program Files（Program Files（x86））］－［Browny02］－［Brother］を選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックする**

補足

Windows Vista®の場合、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、［続行］をクリックしてください。Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従い、診断修復を行う**

ネットワークプリンター診断修復ツールを使用しても改善しない場合は、ネットワーク管理者へのお問い合わせ、またはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

補足

ステータスモニターを使用して、ネットワークプリンター診断修復ツールを自動的に起動させることができます。以下の手順に従って設定してください。
① ステータスモニターを表示させて右クリックします。
② ［オプション］－［詳細設定］－［診断］タブをクリックします。
③「接続状態を常に監視する」のチェックボックスにチェックを入れ、［OK］をクリックします。
ステータスモニターの表示方法については、⇒「ユーザーズガイド パソコン活用編」を参照してください。ただし、ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して自動修復を行った場合、ネットワーク管理者が設定した固定のIPアドレスが自動的に変更される場合があるのでおすすめしません。

1. コンピューターのネットワーク情報を調べる

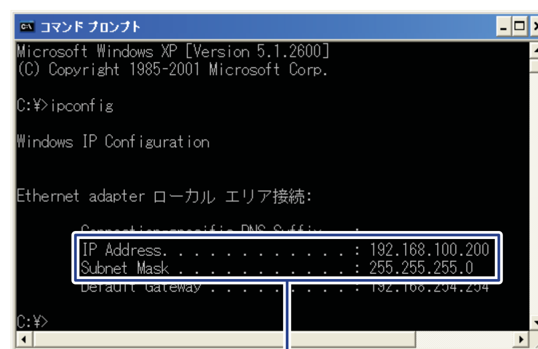
Windows®の場合

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］を選び、［コマンド プロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

例）画面はWindows® XPです。
Windows Vista® の場合は、IPv4 Address、IPv6 Addressの両方が表示されます。



ここを確認

（A）コンピューター側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了する

Mac OS X 10.5.8、10.6.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4 アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IPv4アドレス	.	.	.	
サブネットマスク	.	.	.	

5 「サブネットマスク」の値を確認する

サブネットマスク	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

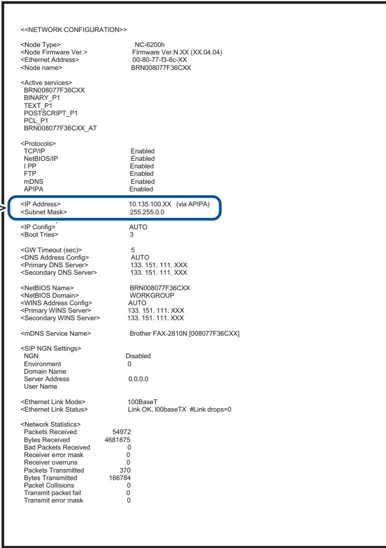
2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 LAN 設定内容リストを印刷する

⇒ 32 ページ「LAN 設定内容リストの出力」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

IP Address
Subnet Mask



```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                    NC-6200h
<Node Firmware Ver.>           Firmware Ver.N.XX (XX.04.04)
<Ethernet Address>             00-80-77-f3-6c-XX
<Node name>                    BRN008077F36CXX

<Active services>
 BRN008077F36CXX
 BINARY_P1
 TEXT_P1
 POSTSCRIPT_P1
 PCL_P1
 BRN008077F36CXX_AT

<Protocols>
 TCP/IP                        Enabled
 NetBIOS/IP                    Enabled
 I PP                          Enabled
 FTP                           Enabled
 mDNS                          Enabled
 APIPA                         Enabled

<IP Address>                   10.135.100.XX   (via APIPA)
<Subnet Mask>                  255.255.0.0
<IP Config>                    AUTO
<Boot Tries>                   3

<GW Timeout (sec)>             5
<DNS Address Config>           AUTO
<Primary DNS Server>           133. 151. 111. XXX
<Secondary DNS Server>         133. 151. 111. XXX

<NetBIOS Name>                 BRN008077F36CXX
<NetBIOS Domain>               WORKGROUP
<WINS Address Config>          AUTO
<Primary WINS Server>          133. 151. 111. XXX
<Secondary WINS Server>        133. 151. 111. XXX

<mDNS Service Name>            Brother FAX-2810N [008077F36CXX]

<SIP NGN Settings>
 NGN                           Disabled
 Environment                   0
 Domain Name
 Server Address                0.0.0.0
 User Name

<Ethernet Link Mode>           100BaseT
<Ethernet Link Status>         Link OK, l00baseTX  #Link drops=0

<Network Statistics>
 Packets Received          54972
 Bytes Received          4681875
 Bad Packets Received          0
 Receiver error mask           0
 Receiver overruns             0
 Packets Transmitted         370
 Bytes Transmitted        166784
 Packet Collisions             0
 Transmit packet fail          0
 Transmit error mask           0
```

（B）本製品側記入欄

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

3. コンピューターのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

⇒47ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、⇒49ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

1 （A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する

例）サブネットマスクの値が［255.255.255.0］の場合

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	011

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	250

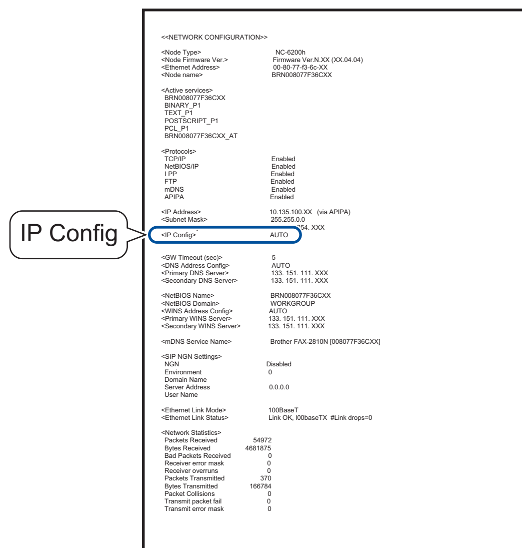
2 手順 1 の表の灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する

3 手順 1 の表の灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する

本ガイドの使い方・目次
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
ウェブブラウザーで管理する
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

⇒49ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したLAN設定内容リストの、「IP Config」の項目を確認します。



<<NETWORK CONFIGURATION>>	
<Node Type>	NC-6200h
<Node Firmware Ver.>	Firmware Ver.N.XX (XX.04.04)
<Ethernet Address>	00-80-77-f3-6c-XX
<Node name>	BRN008077F36CXX
<Active services>	
BRN008077F36CXX	
BINARY_P1	
TEXT_P1	
POSTSCRIPT_P1	
PCL_P1	
BRN008077F36CXX_AT	
<Protocols>	
TCP/IP	Enabled
NetBIOS/IP	Enabled
I PP	Enabled
FTP	Enabled
mDNS	Enabled
APIPA	Enabled
<IP Address>	10.135.100.XX (via APIPA)
<Subnet Mask>	255.255.0.0
	54. XXX
<IP Config>	AUTO
<GW Timeout (sec)>	5
<DNS Address Config>	AUTO
<Primary DNS Server>	133. 151. 111. XXX
<Secondary DNS Server>	133. 151. 111. XXX
<NetBIOS Name>	BRN008077F36CXX
<NetBIOS Domain>	WORKGROUP
<WINS Address Config>	AUTO
<Primary WINS Server>	133. 151. 111. XXX
<Secondary WINS Server>	133. 151. 111. XXX
<mDNS Service Name>	Brother FAX-2810N [008077F36CXX]
<SIP NGN Settings>	
NGN	Disabled
Environment	0
Domain Name	
Server Address	0.0.0.0
User Name	
<Ethernet Link Mode>	100BaseT
<Ethernet Link Status>	Link OK, l00baseTX #Link drops=0
<Network Statistics>	
Packets Received	54972
Bytes Received	4681875
Bad Packets Received	0
Receiver error mask	0
Receiver overruns	0
Packets Transmitted	370
Bytes Transmitted	166784
Packet Collisions	0
Transmit packet fail	0
Transmit error mask	0

• 「IP Config」が「AUTO」の場合

本製品をコンピューターと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下の『「IP Config」が「STATIC」の場合』を参照して手動で設定してください。

• 「IP Config」が「STATIC」の場合

本製品のIPアドレスを以下のように設定してください。

IP Address （IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内

⇒47ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

上記表の灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのコンピューターと異なる、2～254の値を設定してください。

この場合、他の機器と同じIPアドレスにならないように、200～250の範囲内でIPアドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品のIPアドレスを192.168.123.250に割り当てます。）

詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご確認いただくか、またはルーター提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法は、⇒22ページ「IPアドレス」を参照してください。

5. ドライバーの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバーのインストールを行います。すでにインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

補足

Macintoshの場合は、アンインストールは不要です。

アンインストール方法

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［FAX-2810N］を選び、［アンインストール］をクリックします。

後の操作は画面の指示に従ってください。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークで使う前に
操作パネルでネットワークの設定をする
ウェブブラウザーで管理する
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

5章

付録

IPアドレスの設定方法（上級者ユーザー、ネットワーク管理者向け）

DHCPを使用してIPアドレスを設定する

DHCPは、IPアドレス自動割り当て機能の1つです。ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合は、そのDHCPサーバーから本製品に自動的にIPアドレスなどが割り当てられます。

注意

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように、IPの設定方法を手動（「Static」（固定））に設定してください。ただし、「Static」に設定すると、次世代ネットワーク（NGN）でIPファクスを使用できなくなります。IPアドレスの取得方法については、⇒21ページ「IP取得方法」を参照してください。

BOOTPを使用してIPアドレスを設定する

BOOTPは、RARPとは別の方法でIPアドレスを取得する方法です。IPアドレスのほか、サブネットマスクやゲートウェイアドレスも取得します。
BOOTPを使用してIPアドレスを設定するには、ホストコンピューターにBOOTPがインストールされ、実行されている必要があります。ホスト上の/etc/servicesファイルにBOOTPがリアルサービスとして記述されていなければなりません。man bootpdと入力するか、システムのマニュアルを参照してください。
通常、BOOTPは/etc/inetd.confファイルを使用して起動されますので、このファイルのbootpエントリの行頭にある#を削除して、この行を有効にしておく必要があります。
一般的な/etc/inetd.confファイル内のbootpエントリを以下に示します。（□はスペースを表します。）

#bootp□dgram□udp□wait□/usr/etc/bootpd□bootpd□-i

補足

- BOOTPサーバーの設置についてはBOOTPの説明書を参照してください。
- システムによって、このエントリには「bootp」ではなく「bootps」が使用されている場合があります。

BOOTPを有効にするには、エディターを使用して行頭の#を削除します。#がない場合は、BOOTPはすでに有効になっています。
次に、設定ファイル（通常は /etc/bootptab）を編集し、ネットワークインターフェイスの名前、ネットワークの種類（Ethernetの場合は1）、MACアドレス（イーサネットアドレス）、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。ただし、この記述フォーマットは標準化されていないため、システムのマニュアルを参照してください。
一般的な/etc/bootptabエントリの例を、以下に示します。（□はスペースを表します。）

BRN008077310107□1□00:80:77:31:01:07□192.189.207.3
および
BRN008077310107:ht=ethernet:ha=008077310107:￥ip=192.189.207.3:

BOOTPホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTPリクエストに応答しないものがあります。そのような場合は、ホスト上にnullファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARPでの設定の場合と同じように、本製品の電源スイッチをONにすると、BOOTPサーバーからIPアドレスが割り当てられます。

RARPを使用してIPアドレスを設定する

ホストコンピューターでReverse ARP（RARP）機能を使用し、本製品のIPアドレスを設定することができます。
以下のエントリ例と同じような行を追加入力して、/etc/ethers ファイルを編集してください（ファイルが存在しない場合は、新しいファイルを作成します）。

例）00:80:77:31:01:07□BRN008077310107

00:80:77:31:01:07は製品のMACアドレス（イーサネットアドレス）、BRN008077310107は製品のノード名です。（□はスペースを表します。）

お使いの製品の設定に合わせて入力してください。（ノード名は、/etc/hostsファイル内の名前と同じでなければなりません。）

rarpデーモンが実行されていない場合は、実行します。
使用環境により、コマンドはrarpd、rarpd -a、in.rarpd -aなどになります。詳細情報については、man rarpdと入力するか、システムのマニュアルを参照してください。Berkeley UNIXベース環境でrarpデーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。（□はスペースを表します。）

ps□-ax | grep□-v□grep | grep□rarpd

AT&T UNIXベース環境では、以下のコマンドを入力してください。（□はスペースを表します。）

ps□-ef | grep□-v□grep | grep□rarpd

本製品の電源スイッチをONにすると、rarpデーモンからIPアドレスが割り当てられます。

APIPAを使用してIPアドレスを設定する

DHCPサーバーが利用できない場合は、本製品のIPアドレス自動設定機能（APIPA）によってIPアドレスとサブネットマスクを自動的に割り当てます。本製品の IP アドレスを 169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲、サブネットマスクは255.255.0.0、ゲートウェイアドレスは0.0.0.0に、自動的に設定します。

初期設定では、APIPA は使用可能に設定されています。APIPA を使用しない場合は、操作パネル、BRAdmin Light、またはウェブブラウザーを使用して、APIPAを使用不可の設定にしてください。

ARPを使用してIPアドレスを設定する

BRAdmin Lightおよびネットワーク上でDHCPサーバーが利用できない場合は、ARPコマンドを使用して、IPアドレスを設定することができます。ARPコマンドはUNIXシステムと同様に、TCP/IPプロトコルがインストールされているWindows® システムでも使用することができます。
ARPを使用するためには、コマンドプロントで以下のコマンドを入力してください。（□はスペースを表します。）

arp□-s□ipaddress□ethernetaddress
ping□ipaddress

ethernetaddressにはプリントサーバーのMACアドレス（イーサネットアドレス）を、ipaddressにはIPアドレスを入力します。

● Windows® システムの入力例

Windows®システムでは、MACアドレスの文字間に -（ハイフン）が必要です。（□はスペースを表します。）

arp□-s□192.168.1.2□00-80-77-31-01-07
ping□192.168.1.2

● UNIX/Linux® システムの入力例

一般的にUNIXとLinuxシステムでは、MACアドレスの文字間に：（コロン）が必要です。（□はスペースを表します。）

arp□-s□192.168.1.2□00:80:77:31:01:07
ping□192.168.1.2

補足

- arp -s コマンドを使用するには、同じイーサネットセグメント上（ルーターがプリントサーバーとオペレーションシステムの間に存在しない状態）で使用してください。
- ルーターがある場合は、BOOTP、またはその他の方法を使用してもIPアドレスを入力することができます。
- ネットワーク管理者が、BOOTP、DHCP、または RARP を使用して IP アドレスを割り当てるためにシステムを設定している場合、本製品のプリントサーバーは、これらのIPアドレス配布サーバーのいずれかよりIPアドレスを受け取ることができます。このような場合は、ARPコマンドを使用する必要はありません。
- ARPコマンドは一度しか使用できません。
  一度ARPコマンドを使用して本製品のプリントサーバーにIPアドレスを割り当てるとセキュリティの理由により、ARPコマンドを使用してのIPアドレスの変更ができなくなります。IPアドレスを変更する場合は、ウェブブラウザー、TELNET、またはプリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻してください。（お買い上げ時の設定に戻すと、再度ARPコマンドを使用することができます。）

TELNET端末を使用してIPアドレスを設定する

TELNETコマンドを使用してIPアドレスを変更することができます。
すでに本製品のプリントサーバーにIPアドレスが設定されている場合は、TELNETを使用してIPアドレスを変更するのが効果的な方法です。

システムプロンプトのコマンドプロンプトにTELNET<command line>（<command line>にはプリントサーバーのIPアドレスを入力）を入力します。
システムに接続したら、#を表示させるためにキーボードのEnterキー、またはReturnキーを押し、パスワードのaccessを入力します。
ユーザー名入力の表示がされたら、ユーザー名を入力します。
Local>が表示されたら、SET IP ADDRESS ipaddress（ipaddressにはプリントサーバーに割り当てたいIPアドレスを入力）を入力します。（□はスペースを表します。）
（IPアドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。）

例）Local> SET□IP□ADDRESS□192.168.21.3

次にサブネットマスクを設定する必要があります。
SET IP SUBNET subnet mask（subnet maskにはプリントサーバーに割り当てたいサブネットマスクを入力）を入力します。（□はスペースを表します。）
（サブネットマスクについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。）

例）Local> SET□IP□SUBNET□255.255.255.0

マスク値が足りない場合は、次のサブネットマスク初期値のいずれかを使用します。

クラスA　255. 000. 000. 000
クラスB　255. 255. 000. 000
クラスC　255. 255. 255. 000

IPアドレスの最も左の3桁のグループで、ネットワークのタイプを確認することができます。
クラスAでのグループ値の範囲は、1～127です。

例）13.27.7.1

クラスBでのグループ値の範囲は、128～191です。

例）128.10.1.30

クラスCでのグループ値の範囲は、192～255です。

例）192.168.1.4

ゲートウェイ（ルーター）がある場合は、そのアドレスを入力します。
SET IP ROUTER routeraddress（routeraddressにはプリントサーバーに割り当てたいゲートウェイのIPアドレスを入力）を入力します。（□はスペースを表します。）

例）Local> SET□IP□ROUTER□192.168.1.4

IPアドレスの取得方法をstaticにするために、SET IP METHOD STATICを入力します。
入力したIPアドレスを確認するためには、SHOW IPを入力します。
EXIT、またはキーボードのCtrlキーとDキーを押すと、TELNET端末によるリモート設定が終了します。

オートマチックドライバーインストーラーを使う（Windows®のみ）

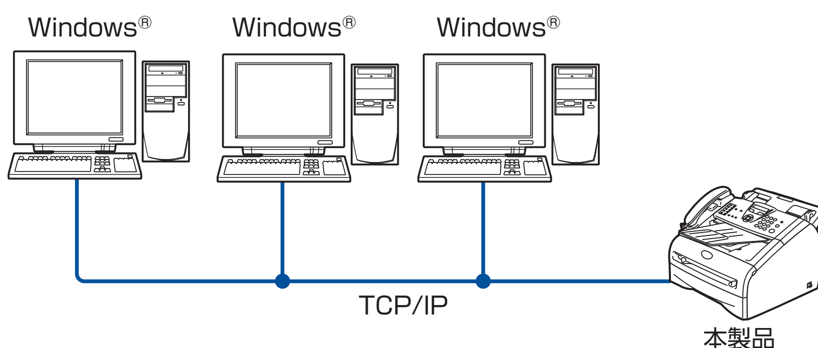
プリンタードライバーをご使用の設定に合わせて作成するツールです。ネットワーク接続のみにオリジナルドライバーを作成でき、ユーザーに配布することができます。配布インストーラーは、OSごとの作成が必要です。
プリンタードライバーとソフトウェア（ピアツーピア接続の場合）を同時にインストールできるため、わずらわしい設定作業をすることなくプリンタードライバーの設定が可能になり、インストール作業の時間と手間を省けます。
このソフトウェアはWindows®専用です。

オートマチックドライバーインストーラーが対応する本製品の接続方法

オートマチックドライバーインストーラーが対応する本製品の接続方法は、次の2種類です。

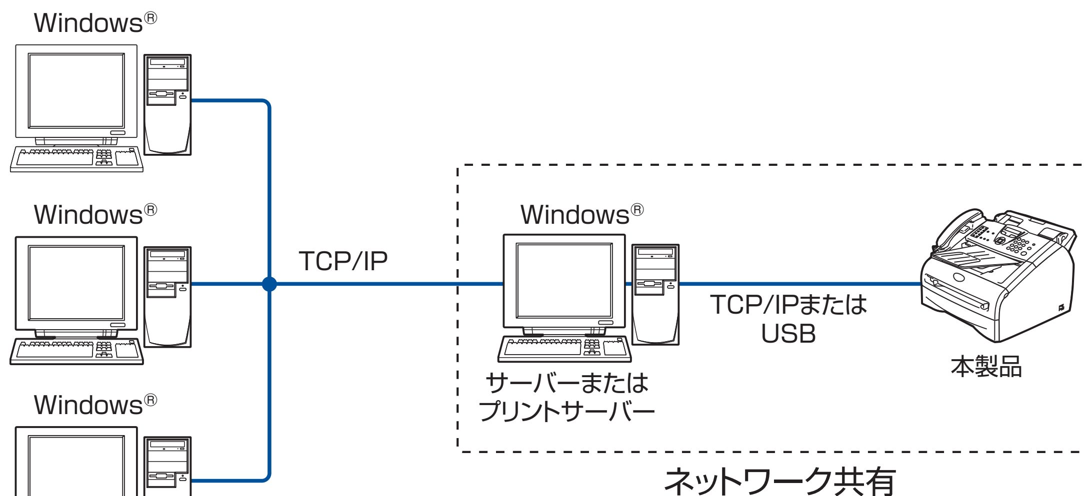
● ピアツーピア接続

本製品はネットワークに接続されていますが、印刷データの管理などは行わず、直接本製品に印刷します。



● ネットワーク共有

本製品はネットワークに接続され、サーバーまたはプリントサーバーが印刷データの管理などを行い、本製品に印刷します。



オートマチックドライバーインストーラーをインストールする

1 コンピューターの電源を入れる

管理者権限をもつユーザーでログオンします。

2 本製品に付属の CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「Start.exe」をダブルクリックしてください。

3 ［ネットワークユーティリティ］をクリックする



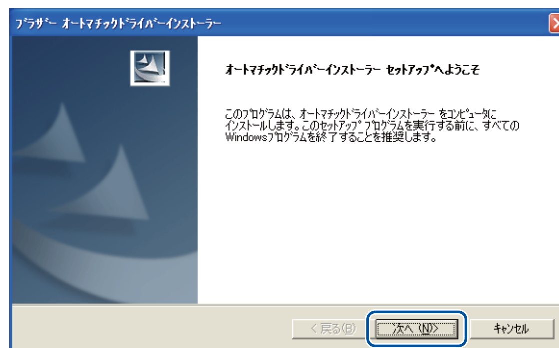
4 ［オートマチックドライバーインストーラー］をクリックする



補足

Windows Vista®の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されますので、［続行］をクリックします。Windows® 7の場合は、［はい］をクリックします。

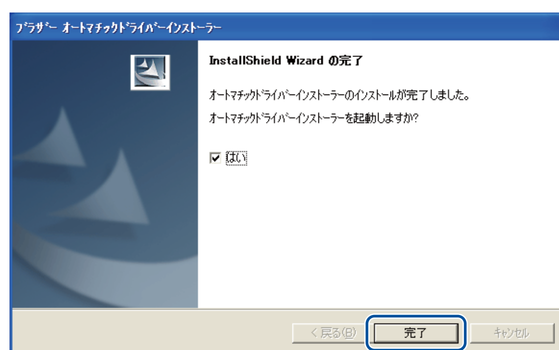
5 オートマチックドライバーインストーラーのセットアップ画面が表示されたら、［次へ］をクリックする



6 画面の指示に従い、インストールを完了させる

7 ［完了］ボタンをクリックする

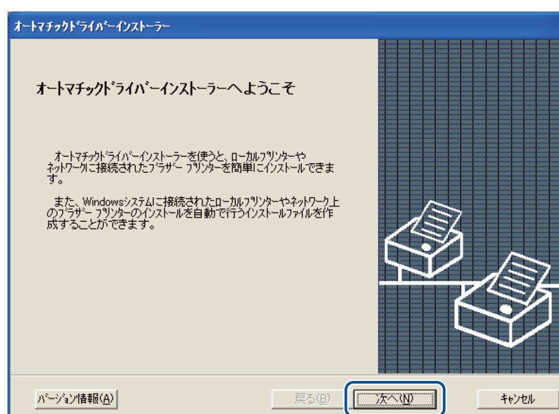
これでインストールは完了しました。
［はい］をチェックしている場合は、オートマチックドライバーインストーラーが起動します。



オートマチックドライバーインストーラーを使用する

「オートマチックドライバーインストーラー」を起動すると、「オートマチックドライバーインストーラーへようこそ」の画面が表示されます。

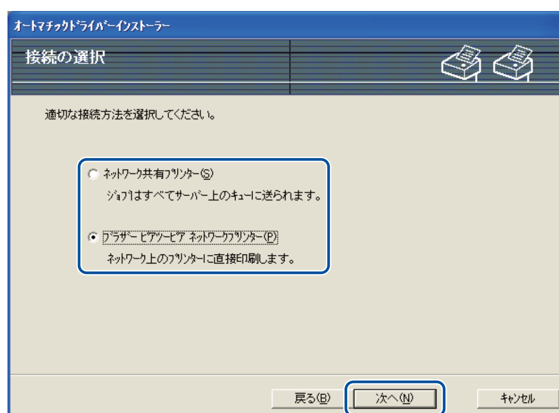
1 ［次へ］をクリックする



2 「MFC」を選択し、［次へ］をクリックする



3 本製品の接続方法を選択し、［次へ］をクリックする



4 本製品を選択し、［次へ］をクリックする

手順３で「ブラザーピアツーピアネットワークプリンター」を選択した場合は、右の画面が表示されます。

- IPアドレスの設定

  本製品にIPアドレスがない場合は、リストから本製品を選択し、［IPの設定］をクリックし、IPアドレスを変更できます。

  表示された「IPアドレス設定」画面でIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどの情報を設定することができます。

5 プリンタードライバーを選択し、［次へ］をクリックする

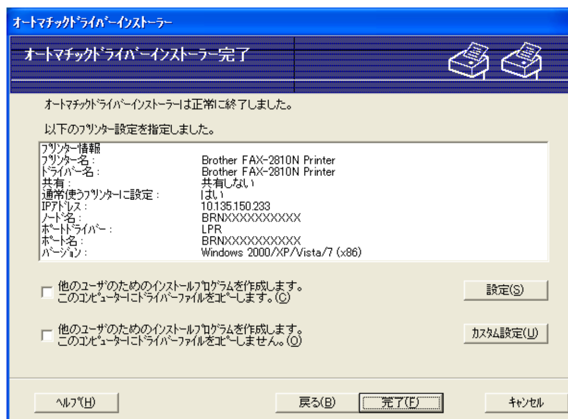
すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、「インストールされているドライバーを使用する」をチェックし、表示されるドライバーを選択します。
使用したいプリンタードライバーがコンピューターにインストールされていない場合は、［ディスク使用］をクリックし、プリンタードライバーのファイルの場所を指定します。

6 プリンター設定詳細画面が表示されたら、ドライバーの設定内容を確認する

● 実行ファイルの作成

オートマチックドライバーインストーラーを使って、自動実行.EXEファイルを作成することもできます。自動実行.EXEファイルは、ネットワークに保存したり、CD-ROMやUSBメモリにコピーしたり、他のユーザーにEメールで送信することもできます。

実行後は､ドライバーとその設定が自動的にインストールされます。



- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピューターにドライバーファイルをコピーします。」

  ご使用のコンピューターにドライバーをインストールし、ご使用のコンピューターと同じオペレーティングシステム（OS）の他のコンピューターで実行する自動実行.EXEファイルを作成する場合に選択します。
- 「他のユーザのためのインストールプログラムを作成します。このコンピューターにドライバーファイルをコピーしません。」

  ご使用のコンピューターにドライバーが既にインストールされているため、ドライバーを再度インストールせず、ご使用のコンピューターと同じオペレーティングシステム（OS）の他のコンピューターで実行する自動実行.EXEファイルのみを作成する場合に選択します。

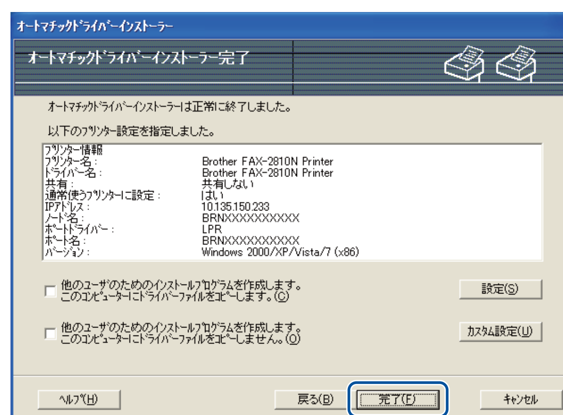
補足

●「キュー」に基づくネットワークで作業しており、実行ファイルに設定するものと同じプリンターキューにアクセスできない他のユーザーのための実行ファイルを作成する場合は、ドライバーを遠隔コンピューターにインストールしたときに、LPT1印刷に初期設定されます。

●手順５で「インストールされているドライバーを使用する」にチェックを入れた場合は、［カスタム設定］をクリックして、用紙サイズなどプリンタードライバーの初期設定を変更することができます。

7 ［完了］をクリックする

プリンタードライバーが自動的にインストールされます。



仕様

プリントサーバー

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-6200h type3	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® XP Home Edition/XP Professional Edition/XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2003 R2/2008/2008 R2 Mac OS X 10.5.8以降	
プロトコル	TCP/IP: IPv4	TELNET, SNMP, HTTP, TFTP, ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), WINS/NetBIOS, DNS, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, SIP, IPP, FTP, mDNS
ネットワークタイプ	10/100BASE-TX イーサネット	
ネットワーク印刷	Windows® XP、Windows Server® 2003/2008、 Windows Vista®、Windows® 7 TCP/IP印刷 Mac OS X 10.5.8以降 Macintosh印刷	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light※1※2 BRAdmin Professional※3 ウェブブラウザー	

※1　BRAdmin Light(Macintosh版)は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp/))よりダウンロードしてください。
※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター(http://solutions.brother.co.jp/))から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。
※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。

用語集

● APIPA

Automatic Private IP Addressingの略です。

IP アドレス配布サーバーが無い環境では、本製品が自分自身でIPアドレスを割り当てる機能です。

● AppleTalk

米アップルコンピューター社製品のMacintosh用ネットワークプロトコル群の総称です。

● ARP

Address Resolution Protocolの略です。

TCP/IPプロトコルにおいて、IPアドレスの情報からMACアドレスを調べて通知するプロトコルです。

● BOOTP

BOOTstrap Protocolの略です。

TCP/IPネットワーク上のクライアントマシンにおいてIPアドレスやホスト名、ドメイン名などのパラメーターをサーバーから自動的にロードしてくるためのプロトコルです。

● BRAdmin Professional

BRAdmin Professionalは、Windows® XP/Vista/7およびServer2003/2008の環境下でブラザーネットワークプリンターを管理するソフトウェアです。ネットワークに接続されているブラザープリンターを設定し、そのステータスを確認することができます。

● DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略です。

動的ホスト構成プロトコル。ネットワーク上のIPアドレスを動的かつ自動的に割り当て管理するプロトコル。

BOOTPの拡張版で、DHCPサーバーはDHCPクライアントの要求に応じてIPアドレスを割り当て、サーバーとクライアント間の通信にはBOOTPを使用します。

メッセージのフォーマットやプロトコルは、BOOTPとほぼ同じです。

● DNS

Domain Name Systemの略です。

TCP/IPネットワークで使用されるネームサービスです。クライアントはDNSサーバー内のホスト名とIPアドレスの対応関係を記述したデータベースを参照することで、ホストの名前を指定してネットワークにアクセスできるようになります。

● FTP

File Transfer Protocolの略です。

ファイル転送プロトコルで、TCP/IPプロトコルの一つです。ネットワークにログインし、ファイルの表示や転送を行う目的で使用されます。

● IPP

Internet Printing Protocolの略です。

インターネットなどのTCP/IPネットワークを通じて印刷データの送受信や印刷機器の制御を行うプロトコルです。特徴として、ウェブブラウザーなどが使うHTTPプロトコルを用いてネットワーク上のプリンターに印刷を指示できるようになっています。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできます。

● IP アドレス

IPプロトコルで使用するための32bit（IPv4）のアドレスで、ネットワーク自体やネットワーク上のノードを特定する論理番号のことです。

● ITU-T T.38

電話回線で使われるファクスの信号を、IPネットワーク上で通信するために規定した規格です。

● LPR

Line PRinter daemon protocolの略です。

lprは、プリント・キューに存在するプリント・ジョブを、printcapファイルで指定されたプリンターに印刷する要求を行うためのポートです。UNIXに接続されたプリンターに印刷するために、広く使われています。

● Microsoft Internet Print Services

IPPプロトコルを使用して、Windows® XP/Vista/7およびServer2003/2008コンピューターを通じて印刷ジョブをプリンターに送るときに使用します。

● NetBIOS

Sytek社が開発したアプリケーション・プログラム・インターフェイス（API）で、LAN上のコンピューターが同じLAN上の他のコンピューターと対話する必要がある前提で設計されたインターフェイスです。IBM Server、Microsoft LAN Manager環境向けのアプリケーションを作成するときにプログラマが使用します。

● RARP

ARPプロトコルとは逆に、自ノードのMACアドレスから「自分の」IPアドレスを求めるためのプロトコルです。

● TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（伝送制御プロトコル／インターネットプロトコル）の略です。

インターネットで使用されているプロトコル、通信ソフト（アプリケーション）を特定して通信路を確立するプロトコル（TCP）と、通信経路に関するプロトコル（IP）から構成されています。OSI参照モデルでは、TCPはレイヤー 4、IPはレイヤー 3に対応しています。

● TELNET

自端末からリモートシステム端末へのアクセス機能、ネットワーク内での仮想端末の機能を提供するTCP上のプロトコルで、リモートTelnetコネクションという文字単位の通信経路を設定します。通常ログイン時のパスワード認証以外に特別なセキュリティ機能は持ちません。

● UDP

User Datagram Protocolの略です。

TCP/IPにおけるトランスポート層に属するプロトコル。

インターネットでは、音声や動画などのストリーミング送信などのデータ転送に使用されており、転送速度は速く信頼性が低いのが特徴です。

逆に、TCPは転送速度が遅く信頼性が高いのが特徴です。

● イーサネットアドレス（MAC アドレス）

イーサネット機器が持つ6バイトのアドレスです。ISO/OSIモデルの物理層およびデータリンク層で機能します。イーサネットアドレスは機器内部に記憶されているので、ユーザーが変更することはできません。

● サブネットマスク

IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のことです。IP アドレスとサブネットマスクをANDすると、サブネットアドレスになります。

● 次世代ネットワーク（NGN）

電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP 技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。

● データコネクト

お使いの市外局番（「03」など）から始まる電話番号を利用して、セキュアで安定した帯域確保型データ通信を実現するNTTのサービスです。データコネクトでIPファクスを使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。

● ポート番号

複数の相手と同時に接続を行なうためにIPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレス。ポートの指定には０から65535までの数字が使われます。FTPは 21、HTTPは80、メール受信は110、などのように、ポート番号はサービスを特定するための番号です。

● ルーター

ネットワーク間（LANとLAN、LANとWAN）の接続を行うネットワーク機器の一つです。

索　引

ね

の

は

ひ

ふ

り